

# 子育て支援について

## 一般質問



高橋佐代子 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 保育園は家庭的な温かい雰囲気や園児を大切にしながら、子供たちを保育するのが大きな役割である。若い人たちに住んでもらうためには、保育園の充実が大事なこと。幼稚園では幼稚園の規定に基づき職員が配置されている。幼稚園と保育園では職員の配置数が異なり、幼稚園のない地区には不公平ではないか。保育園にも規程が必要でない場合は幼稚園に準ずるべきではないか。

**答** 今後、幼稚園、幼保連携型の認定こども園の推進、満3歳児からの幼児教育を検討して

いく上で、構成する年齢児数を勘案しながら、混合クラスにすべき基準を設けていく必要があると考えており、混合クラスや休園規程等は、保護者や地域の方々に問題提起をしつつ、改善に努めます。

**問** 保育士の不足をよく口にされるが、もっと弾力的な規定に臨機応変に変えていけないのか。特に、年度途中からのゼロ歳児の受入態勢について。

**答** ゼロ歳児については、保育士1人で通常3人まで受け入れられます。乳幼児の安全第一ですので、法定基準を超えて預かることはできません。園児募集の締め切り期間までに申し込みがあれば、できる限り確保を行っています。今後限られた保育士の人数であるため、運用面での創意工夫を図っていきながら、保育士の採

用について引き続き努力します。

**問** 正職員の保育士が少なくなる中、嘱託職員やアルバイトが大変多く、保育に対する責任の負担が難しくなっている。今後の保育士の採用計画と配置、男性保育士の応募状況はどうなっているのか。

**答** 中長期の計画に基づき、職員の採用計画をまとめていきます。男性保育士は男女雇用均等法、現場ニーズ等より、その役割が期待されていることから、積極的に呼びかけていきます。

### ■その他の質問項目

- ・前教育長が関係した人権問題について
- ・市税・公共料金の滞納状況と徴収体制について

# 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西について

## 一般質問



土本 昌幸 議員  
(公明党)

**問** 市民が積極的に健康づくりや福祉活動に取り組んでいけるように、健康福祉会館を健康と福祉の拠点として充実させていくとのことであるが、生活習慣病や介護を予防し、健康寿命長寿を実現するために、栄養指導やウォーキング等の体操を推進していただきたいが、現在の状況はどうか。

**答** 昨年10月に、健康課と健康増進センターを健康福祉会館へ移転し、市民の健康づくりに向け、施設の一層の機能充実を図っているところ。具体的には、対象者の多い高血圧、

メタボリックシンドローム、骨粗しょう症をテーマに、栄養、運動の講話と実技を取り入れたヘルスアップ教室を、本年度は3回にわたり実施しました。また、栄養や運動のミニ講座を取り入れた健康達人講座を、医師会の協力を得て、延べ8回実施しています。

そして、講座外でのさまざまな機会においても、保健師、栄養士が随時相談を受け、必要に応じて運動教室へ案内することで、中高年者の新規利用者は昨年の3人から20人へと、10月の移転以降、大きくふえています。また、短期の運動教室では、日常生活に身近な運動であるウォーキングやストレッチを中心に、体操の推進についても実施しているところです。

ウォーキングは、誰もがいつでもどこでもできる、健康づくりに有効な方法であり、条例化に向けてもぜひ頑張っていきたいと考えています。

**問** ラジオ体操を推進し、広く市民に普及させ、健康づくりに活用すべきと考えるが、いかがか。

**答** ラジオ体操は、どの小学校でも体育の授業に取り入れており、運動会や体育祭の演技種目としても実践しています。また、夏季休業中におけるラジオ体操は、子供の健康づくり、生活習慣の定着に役立っています。そして、保護者や地域の高齢者の方と一緒にいる地域もあり、よい交流の場となっており、このような活動を今後も継続することが、ラジオ体操の啓発、推進につながっていくものと考えております。

### ■その他の質問項目

- ・消費税率引き上げ